



エポマイルド

弱溶剤形自己架橋エポキシ樹脂さび止め塗料

- 高防さび
- 速乾
- 幅広い適応
- 無希釈
- 低臭
- 一液
- F☆☆☆☆
- 鉛・クロムフリー

弱溶剤形自己架橋エポキシ樹脂さび止め塗料

エポマイルド

エポマイルドは、塗料用シンナー可溶の特性を生かした使いやすい、速乾性のエポキシさび止めです。

高防さび・
鉛・クロム

EPOMILD

防さび顔料

防せい性

塩水噴霧および耐複合セ
において、優れた防せい

安全性

鉛・クロムなど有害な防
ので、安全性に優れます

Pb

特殊変性エポキシ樹脂の特性

付着性

素材および旧塗膜に対し、強力な付着性を発揮します。

低臭

塗料用シンナー可溶タイプのため、臭気はマイルドで優しいです。

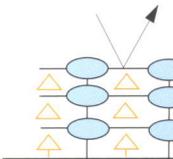
作業性

はけ塗り作業性は、SOP並みで、塗りやすいです。

旧塗膜適応性

活膜の旧塗膜をリフティング・溶解させることなく、安心して塗装できます。

塗りやすい



● 特
△ 防

- 特殊変性エポキシ樹脂形成、水分をしゃ
- 特殊変性エポキシ樹脂合、強力に付着。

無臭・速乾・一液・無希釈・幅広い適応

プライマー・F☆☆☆☆

その他の特性

無希釈

無希釈で塗装ができ、膜厚管理が容易です。

上塗適応性

各種の上塗塗料が塗装可能です。
上塗りの美しいつや・仕上がりが得られます。

乾燥性

速乾性ですので、3時間（23℃）のインターバル
で上塗りができます。

一液・取扱い

一液の指定可燃物（非危険物）ですから
保管・取扱い面で有利です。

F☆☆☆☆

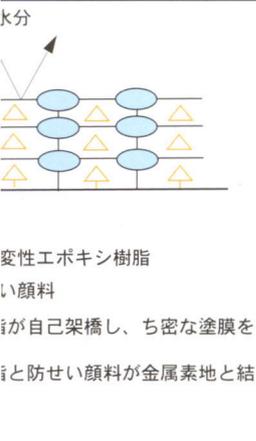
ホルムアルデヒド放散等級分類は規制対象外です。

特性

イソシアン酸エステル防食性試験
の結果を示します。

含有顔料を含みません

Cr



● 用途

建築物：鉄鋼構造物・空調機器・階段手摺・屋根・ダクト
プラント：各種タンク（外面）・パイプ類
鉄塔：鉄塔・看板
シャッター・歩行部位への塗装は避けてください。

● 適用素地

鉄骨・鋼板・トタン、カラートタン・電気亜鉛めっき鋼板・ステンレス鋼板
アルミニウム板（どぶ漬け溶融亜鉛めっき鋼材、塩化ビニル被覆鋼板は不適）

● 適用旧塗膜

合板樹脂調合ペイント・アクリルアルキド樹脂塗料・ポリウレタン樹脂塗料
塩化ゴム樹脂塗料（シリコン樹脂塗料・ふっ素樹脂塗料は不適）

● 適用上塗塗料

合成樹脂調合ペイント（鉄鋼構造物のみ適用）・アクリルアルキド樹脂塗料
ポリウレタン樹脂塗料

性能比較表

項目		塗料			試験方法	
		エポマイルド	一液形 エポキシ樹脂 さび止め塗料	二液形高分子 エポキシ樹脂 さび止め塗料		
塗装作業性		○	□	□	JIS K 5674 6.5による はけ塗り	
乾燥時間(h)	5℃	指触乾燥	0.7	0.5	JIS K 5674 6.6による 100μmアプリケーション塗布	
		半硬化乾燥	2	2		
		硬化乾燥	4	5		
	23℃	指触乾燥	0.5	0.2		0.8
		半硬化乾燥	1	1		2
		硬化乾燥	2	2		7
塗膜の外観		異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5674 6.7による	
光沢 (60度)		4.0	4.0	10.0	100μmガラス板塗布1日後測定	
上塗り適合性		異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5674 6.8による	
耐屈曲性		異常なし	われ発生	異常なし	JIS K 5674 6.9によるφ6mm	
耐衝撃性		異常なし	われ発生	異常なし	JIS K 5600-5-3デュポン式による 500g 200mm	
付着安定性		異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5674 6.10による	
耐水性		異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5600-6-2による 素材：軟鋼板 浸漬144時間	
耐中性塩水 噴霧試験	軟鋼板	○	□-△	○	JIS K 5600-7-1による 塩水噴霧 240時間 上塗り：1液ワイドウレタン	
	亜鉛鉄板	○	○	○		
	さび面	○-□	△	○-□		
耐複合サイクル防食性		異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5674 6.11による 36サイクル	
加熱残分 (%)		71.0	66.0	78.0	JIS K 5674 6.12による	
塗膜中の鉛 (%)		0.06以下	0.06以下	0.06以下	JIS K 5674 6.13による (0.06以下)	
塗膜中のクロム (%)		0.03以下	0.03以下	0.03以下	JIS K 5674 6.14による (0.03以下)	
防せい性 (%)		異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5674 6.15による 屋外暴露24ヵ月	

JIS K-5674 鉛・クロムフリーさび止めペイント等に準じる試験

臭気	○→□	×	×	臭覚による判定
希釈剤	(塗料用シンナー)	塗料用シンナー	エポキシシンナー	
希釈率	0%	20%	10%	
膜厚 (μm)	40	21	35	0.14kg/m ² 塗付
たるみ性 (μm)	200	150	200	塗装時の粘度
旧塗膜適合性	○	□	□	合成樹脂調合ペイント塗装2日後に さび止め塗装
消防法表示	危険物分類(第四類)	指定可燃物	第二石油類	第一石油類 (第一石油類)
	危険等級	可燃性液体類	危険等級Ⅲ	危険等級Ⅱ (危険等級Ⅱ)
	有機溶剤区分	第三種	第三種	第二種 (第二種)

優←○□△×→劣

塗料性状

項目	内容
樹脂	特殊変性エポキシ樹脂
顔料	無公害性防せい顔料
密度(23℃)	1.37g/ml
粘度(23℃)	950~1,350mPa·s
引火点	42℃

容量	16kg・4kg
----	----------

色相	赤さび色、グレー、白
----	------------

※グレーの色相は、日塗工DN-80(マンセルN-8)です。

塗装基準

項目	内容	
乾燥時間	5℃	指触40分、硬化4時間
	23℃	指触30分、硬化2時間
	30℃	指触20分、硬化1.5時間
※ 塗装間隔	5℃	8時間以上
	23℃	3時間以上
	30℃	2時間以上
標準塗付量	0.12~0.16kg/m ² /回	
標準膜厚	32~45μm	
塗装方法	はけ、ローラー、エアレス	
希釈	なし	

※塗装間隔は、弱溶剤形塗料が塗装可能な時間です。(屋根塗装の場合は異なります。)

標準塗装仕様 (オール弱溶剤形塗料による塗装仕様)

● 鉄鋼構造物・ダクト・パイプ……ウレタン仕上げ

■ 素地：鉄鋼面・ステンレス鋼面

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	●ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨布などの手工具を併用して、さび、黒皮、油分、付着物を除去する。(JASS18 鉄面素地調整2種)					
下塗り	エポマイルド	100	0.12~0.16	1~2	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	ワイドウレタン 塗料用シンナー	100 5~20	0.12~0.17	2	3時間以上 7日以内	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

●上塗りには、エポール、アクリルエポール、メタルトップ、エスコートホープDX、1液ワイドウレタン、1液ワイドシリコン、ワイドシリコンの塗装も可能です。

●エポール、メタルトップを塗装する場合には、塗装間隔を16時間以上(23℃)取ってください。

● 屋根……ウレタン仕上げ

■ 素地：トタン・カラートタン・アルミニウム板

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	●トタンのさび、劣化塗膜、汚れ、付着物を皮すき、ワイヤブラシ、研磨布、サンダーなどを用いて除去する。油類は、溶剤ふきで除去する。または、高圧水洗で除去、清掃する。 ●素地は十分に乾燥させる。					
下塗り	エポマイルド	100	0.12~0.16	1~2	16時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	ワイドルーフ 塗料用シンナー	100 5~20	0.12~0.17	2	16時間以上 7日以内	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

●上塗りには、エポール、アクリルエポール、サンルーフ、1液ワイドシリコン、ワイドシリコンの塗装も可能です。本仕様の塗装間隔時間(16時間以上)は厳守してください。

●エアレス条件 (一般建築塗料用エアレス機)
一次圧0.4~0.5MPa、二次圧12~20MPa、吐出量0.6L/min以上)

(注) ■さび落としは、金属素地が露出するまで、ケレンしてください。

■エポマイルドの塗付量が少ないと、防せい性及び付着性が低下しますので、必ず標準塗付量(0.12~0.16kg/m²)を塗装して膜厚(32~45μm)を確保してください。エッジ部、凹凸面(40μm以上)などは増し塗りしてください。

■塗付量は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

【注意事項】

塗装上の注意

- 気温5℃以下、湿度85%以上の場合は、塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・結露の恐れがある場合は、塗装を避けてください。
- 使用前に十分かくはんし、内容物を均一にしてから塗装してください。
- 粘度調整が必要な場合は、塗料用シンナーをご使用ください。尚、希釈は5%以内としてください。
- 過剰の希釈は、乾燥が遅れ、たるみを生じますので注意してください。
- 芳香族系溶剤などで希釈しますと旧塗膜を侵す場合がありますので注意してください。
- 塗装間隔は所定の時間を厳守してください。硬化が不十分な場合、再溶解する場合があります。
- エアレス塗装の場合、ミスト汚染防止には、十分配慮してください。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 使用後の塗装器具は、できるだけ早く塗料用シンナーで洗浄してください。

取扱い上の注意

- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないように必ず保護具を着用してください。
- 取扱作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
 - ・有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車輛などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
また、屋外で使用する場合は、家屋の換気口、空気取り入れ口などから溶剤蒸気が室内に入らないように目張りなどをしてください。
- 臭いは、食料品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるまたは、養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ時には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない場所を定めて保管してください。
特に下記場所の保管は避けてください。
 - ・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用い初期消火をしてください。
- 捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときには、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
- カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。



営業本部 ☎510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
技術本部 ☎510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191
☎059-346-1116 FAX059-346-4585

ISO 9001認証取得



札幌支店 ☎0133-60-6311	東京支店 ☎03-5661-2211	名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601	広島支店 ☎082-277-1116	四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071		
仙高出張所 ☎0224-82-1633	郡山出張所 ☎024-956-3306	新潟営業所 ☎025-271-2345
北関東営業所 ☎0493-57-0020	千葉出張所 ☎043-486-0096	多摩出張所 ☎042-581-2155
横浜出張所 ☎045-788-8714	金沢営業所 ☎076-267-1922	静岡営業所 ☎054-236-0825
三重出張所 ☎059-397-6115	平野営業所 ☎06-6791-6291	播磨営業所 ☎0791-67-1468
岡山出張所 ☎086-470-2808	松山出張所 ☎089-922-0577	北九州出張所 ☎093-562-1503
熊本出張所 ☎096-237-3342	宮崎出張所 ☎0985-50-6840	鹿児島出張所 ☎099-268-5208
沖縄営業所 ☎098-884-6054		

取扱店